



第32回 関西ライフサイエンス リーディングサイエンティストセミナー



本セミナーは、ライフサイエンス分野で最先端の研究を展開されている関西の先生方にご講演をいただき、製薬、医療機器、診断薬、健康食品、医療関係者などのライフサイエンス関係者および一般の方々に、健康・医療産業に対するインスピレーションと産業化へのイマジネーションを感じていただくことを目的としています。

このことは、産官学にわたる組織横断的なコミュニティの醸成と、産官学の対話促進につながるものと期待しています。

本セミナーは、3か月に一度の頻度で開催し、毎回2名の講師の先生から、最先端の研究についてホットな話題をお聞きいただけます。皆様のご参加をお待ちしております。

記

日時：2022年**6月13日**（月）**14:00—16:00**

開催方法：ハイブリッド開催

◆会場参加（申込先着順10名様）

：グランフロント大阪北館 タワーC 8F

ナレッジキャピタルカンファレンスルームタワーC-05

<http://www.kc-space.jp/accessmap/>

◆オンライン（zoom ウェビナーを使用します）

参加費：無料

主催：NPO 法人近畿バイオインダストリー振興会議、公益財団法人都市活力研究所

共催：NPO 法人バイオグリッドセンター関西

後援：関西医薬品協会

講演 I 14:00-15:00

「工学的な臓器モデルの現状と課題、将来展望」

大阪大学大学院 工学研究科 応用化学専攻 教授 松崎 典弥 氏

ヒト細胞を用いた組織、臓器モデルの構築は、毒性評価や薬効評価に有用であると期待されるため、活発に研究されている。我々は、細胞表面の微小環境を制御する工学的細胞デザイン技術に基づいた臓器モデルの構築とその医療・創薬・食料分野への応用を報告してきた。本講演では、臓器モデルの現状と課題、将来展望について述べる。

講演Ⅱ 15:00-16:00

「生理活性合成化合物の新しい世界」

京都大学化学研究所 教授／

京都大学物質-細胞統合システム拠点(WPI-iCeMS) 副拠点長 上杉 志成 氏

人間の歴史の中で、生理活性合成化合物はさまざまな形で用いられてきました。古典的な医薬品や農薬の枠にとらわれなければ、化合物にはさまざまな可能性や未来が想像できます。新しいサイズ、新しい物性、新しい見つけ方、新しい作用メカニズムなどを考えれば、化合物の新しい使い方や未来が垣間見えます。今回は材料と医薬品の中間にある化合物やサプリと医薬品の中間にある化合物などを紹介します。

申込先：参加希望者は2022年6月10日（金）までに、NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議のホームページからお申込みください。

URL：<https://kinkibio.com/>

※お申込みの際に、会場・オンラインどちらか選択してください。

※会場での視聴は申込先着10名様といたします。

それ以降の方は、オンライン視聴となりますがご了承ください。（別途連絡いたします）



こちらからもお申込みいただけます

問合先：NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議 事務局 電話：06-4963-2107（菅原、大嶋）

公益財団法人都市活力研究所

電話：06-6359-1322（味村）